

北上駅前病院運営状況資料

1 開設日 令和6年4月1日

2 病床稼働状況及び今後の見込

許可 病床数	R7.6.30 現在 稼働病床 病床数		R6年度			R7年度			R8年度		R9年度		R10年度		R11年度	
			当初 計画	年度末		当初 計画	6月末 実績	年度末 見込	当初 計画	年度末 見込	当初 計画	年度末 見込	当初 計画	年度末 見込	当初 計画	年度末 見込
				見込	実績											
200 床	80 床	病床稼働率	61.4%	40.0%	20.2%	69.3%	21.6%	35.0%	76.6%	56.0%	83.3%	72.0%	88.6%	84.0%	90.6%	90.6%
内、一般 50 床	一般病棟 50 床	1日平均 入院患者数	37.0 人	40.0 人	32.1 人	40.0 人	37.1 人	40.0 人	42.0 人	42.0 人	44.0 人	44.0 人	45.0 人	45.0 人	48.0 人	48.0 人
		病床稼働率	74.0%	80.0%	64.2%	80.0%	74.2%	80.0%	84.0%	84.0%	88.0%	88.0%	90.0%	90.0%	96.0%	96.0%
内、療養 100 床	回復期リハ病棟 30 床	1日平均 入院患者数	40.0 人	30.0 人	8.4 人	50.0 人	6.1 人	15.0 人	60.0 人	40.0 人	70.0 人	60.0 人	80.0 人	78.0 人	82.0 人	82.0 人
		病床稼働率	40.0%	30.0%	8.4%	50.0%	6.1%	15.0%	60.0%	40.0%	70.0%	60.0%	80.0%	78.0%	82.0%	82.0%
内、療養 50 床	医療療養病棟 未稼働	1日平均 入院患者数	35.0 人	10.0 人		39.0 人		10.0 人	43.0 人	30.0 人	46.0 人	40.0 人	48.0 人	45.0 人	49.0 人	49.0 人
		病床稼働率	70.0%	20.0%		78.0%		20.0%	86.0%	60.0%	92.0%	80.0%	96.0%	90.0%	98.0%	98.0%
外来		1日平均 利用者数	10.0 人	15.0 人	4.1 人	20.0 人	3.5 人	8.0 人	25.0 人	10.0 人	30.0 人	20.0 人	33.0 人	30.0 人	35.0 人	35.0 人

※当初計画の数字は令和4年度岩手中部保健医療圏地域医療連携推進会議（R4.6.17開催）資料1-2の参考資料①より。

注）病床稼働率：平均入院患者数／許可病床数

3 人員状況及び今後の見込

(人)

職 種	R6年度末見込	R6年度末現在	R7年6月末現在	R7年12月末見込	R11年度末見込
医 師	6.4063	6.4063	6.0	6.7188	6.875
薬 剤 師	2	2	1	2	2
看 護 職	33	23	25.8	34	52
看護補助者	20	12	4	19	28
放射線技師	1	1	1	1	1
衛生検査技師	1	1	2	2	1
理学療法士	17	14	10	15	20
作業療法士	5	4	4	5	17
言語聴覚士	3	2	3	3	5
管理栄養士	2	2	2	2	2
医療相談員	2.5	2.5	2.5	2.5	3.5
事 務	7	7	5	6	7
調 理 員	10	10	7	9	12
計	109.9063	86.9063	73.3	107.2188	157.375

4 病院の運営状況

(1) 一般病棟

現状 ・令和6年度末平均入院患者数32.1人。目標値40人を下回る。

要因 ・停滞なく入院受入できているが、加齢によるものや慢性疾患の急変等でのご逝去、一方で病状安定し系列施設等へ退院されるケースが多かった。

展望 ・令和7年6月末現在で平均入院患者数37.1人と上向きであり、令和7年末の平均入院患者数40.0人の病床稼働率80.0%を目指す。

(2) 回復期リハビリテーション病棟

現状 ・令和6年度末平均入院患者数8.4人。目標値30.0人を大きく下回る。

要因 ・入院患者の9割強が中部病院様からの脳卒中パスでのご紹介。骨パスは0件、中部病院様以外の紹介元を発掘できず、紹介件数が伸びなかった。
・入院しても病態悪化により一般病棟に転棟し、その後回復期病棟へ復棟できない患者様が4割弱を占め、患者増に至らず。

展望 ・引き続き中部病院様との脳卒中パス連携を深めていく。

・連携パスを締結した他の医療機関(医大附属病院様、盛岡日赤病院様、胆沢病院様、磐井病院様)との情報交換を進めていく。

・令和7年度末の平均入院患者数15.0人を目標とし、令和8年度中に稼働病床を50床に増床し、令和10年度末までに100床の稼働を目指す。

(3) 医療療養病棟

現状 ・現在未稼働。

要因 ・看護体制整備の遅れによる。看護職の入職はコンスタントにある一方で退職者もあり、一般病棟、回復期病棟への配置を優先したため、本来医療療養病棟での勤務を想定していたスタッフも一般又は回復期病棟へ配属せざるを得なかった。

展望 ・看護スタッフの充実を図り、令和7年度内に20床を稼働し、平均入院患者数10.0人を目指す。

・令和8年度中に50床稼働させ、令和8年度末には平均入院患者数30.0人を目指す。

(4) 外来

現状 ・令和6年度末外来平均患者数4.1人で目標値15.0人を大きく下回る。

要因 ・外来受療数が少ない。内科系6割、外科系4割。

展望 ・引き続き、地域の医療機関様、介護・福祉関係機関様や圏域の皆様に受療していただくよう周知活動に努める。

・令和7年度末平均患者数8.0人を目指す。

(5) 看護職員確保

現状 ・看護職員確保に苦慮している。

要因 ・開設時からの看護組織の体制整備が遅れ、また、新たな看護師は入職するが、離職する看護師もあり、大幅な増につながらない。

取組 ・引き続き、ハローワーク、紹介会社等幅広く求人媒体の活用を行う。

・県内全域の看護師養成学校への定期的に訪問し、当院の紹介を行う。

・看護学生から選んでいただける医療機関を目指すため、県看護実習指導者講習会に数名エントリーし、看護学生受入れ体制の整備を進めている。

(6) 職員確保の環境整備等

現状 ・借上げ住宅は、20室のうち7室利用中。

取組 ・宿舍完備の利点を生かした求人活動を行う。